

2/13 児童生徒健全育成表彰  
受賞おめでとうございます



受賞された小学生の皆さん



受賞された中学生の皆さん

教育・文化・スポーツ等の分野で、他の模範となる活躍をした個人や団体を表彰する「児童生徒健全育成表彰」(市教育委員会主催)が行われ、市内の小・中学生のうち作文や陸上競技等で優秀な成績をおさめた団体2組と個人37名に賞状と記念品が贈られました。受賞者は次の皆さんです。(順不同)

※学校名、学年は受賞時のものです。

《団体の部(小学生)》

穴吹ハピネス

- 青山 桜々 さん(3年)
- 田代 藍 さん(3年)

《団体の部(中学生)》

穴吹中学校男子ソフトテニス部

- 重長 志道 さん(2年)
- 曾江 凌央 さん(2年)
- 原田 太陽 さん(2年)
- 天竹 大地 さん(2年)
- 篠原 裕次郎 さん(2年)
- 峯田 一希 さん(2年)
- 廣川 空太 さん(2年)
- 猪上 十希男 さん(1年)

《個人の部(小学生)》

江原南小学校

- 篠原 匡 さん(2年・水泳)
- 横田 涼平 さん(4年・書道)
- 藤森 あかり さん(5年・作文)
- 井上 美月 さん(6年・書道)

《個人の部(小学生)》

脇町小学校

- 中尾 美結 さん(1年・書道)
- 篠原 文侍 さん(3年・書道)
- 祖父江 伊織 さん(5年・科学)
- 小角 俊人 さん(5年・表現活動)
- 野田 佳純 さん(5年・書道)
- 木村 遥 さん(6年・水泳)
- 中本 怜愛 さん(6年・書道)
- 平田 いろは さん(6年・表現活動)

岩倉小学校

- 松田 貴心 さん(5年・水泳)

美馬小学校

- 薦田 弦 さん(2年・書道)
- 眞鍋 実優 さん(5年・陸上競技)
- 園原 陸 さん(6年・書道)

穴吹小学校

- 平田 遥空 さん(2年・柔道)
- 堀ノ内 杏音 さん(4年・書道)
- 平田 仁那 さん(5年・柔道)
- 小泉 旺霸 さん(6年・柔道)
- 立花 華乃 さん(6年・絵画)
- 平田 翔空 さん(6年・柔道)

《個人の部(中学生)》

江原中学校

- 坂本 孝仁 さん(1年・表現活動)
- 井上 記羽 さん(2年・少林寺拳法)
- 瀬尾 侑大 さん(2年・書道)
- 滝口 紗叶 さん(3年・弁論)
- 垂水 潤 さん(3年・作文)

脇町中学校

- 北田 慎一郎 さん(2年・音楽)
- 浅野 友結 さん(3年・陸上競技)

岩倉中学校

- 佐々木 透真 さん(1年・陸上競技)

美馬中学校

- 逢坂 啓 さん(2年・作文)
- 大館 南心 さん(2年・水泳)
- 藤澤 柚月 さん(2年・陸上競技)

三島中学校

- 大塚 美穹 さん(2年・表現活動)
- 丸西 梨愛 さん(2年・卓球)
- 福見 優奈 さん(3年・作文)

穴吹中学校

- 立花 駈 さん(3年・陸上競技)

1/28 企業版ふるさと納税  
コンディショニングに活用



辻紀子代表取締役専務から市長に手渡されました

喜多機械産業株式会社から、企業版ふるさと納税として、「コンディショニングエキスパート養成・活動支援事業」に対する寄附をいただきました。本事業では、コンディショニングについての一段高い知識や技術を身につけた市民等を「コンディショニングエキスパート」として認定し、市内各地で開催する「コンディショニング教室」において、地域おこし協力隊とともに普及活動に取り組んでいます。ありがとうございました。

2/27 企業版ふるさと納税  
子育て支援に活用

株式会社リブドゥコーポレーションから、企業版ふるさと納税として、「子育て応援ポイント付与事業」に対する寄附をいただきました。本事業では、子育てに係る経済的負担を軽減するため、多子世帯や小・中学校入学時に、デジタル地域通貨「MIMACA」のポイントを付与しています。ありがとうございました。

2/28 健幸アンバサダー養成講座  
地域へ広げる健幸を学ぶ



健康情報の伝え方を実践する参加者

小星ベースで健幸アンバサダー養成講座を開催し、高校生2名を含む市民26名が参加しました。

この取組は、健康に関する正しい知識を身近な人に口コミで伝える「アンバサダー(伝道師)」を養成するものです。当日は最新の健康情報のほか、市で普及を進めているコンディショニングエクササイズや、心理学、認知学に基づく情報伝達法を学びました。参加した高校生からは「自分の健康に気を配りながら、家族や周りの人に健康情報を伝えていきたい」との感想があがりました。

2/14 徳島県藍青賞  
受賞おめでとうございます

教育・文化・スポーツ等の分野で特に顕著な業績をおさめた個人や団体を表彰する「徳島県藍青賞」を次の皆さんが受賞されました。(順不同)

※学校名、学年は受賞時のものです。

《個人の部》

- ・藤森 あかり さん(江原南小・5年)  
第38回感動作文コンクール 小学校中学年の部 優秀賞 受賞
- ・中尾 美結 さん(脇町小・1年)  
第93回全国書画展覧会 広島県知事賞 受賞
- ・坂本 孝仁 さん(江原中・1年)  
ねじめ正一氏選 第22回高岡・山町ポエム大賞 最優秀賞 受賞
- ・福見 優奈 さん(三島中・3年)  
第75回全国小・中学校作文コンクール 読売新聞社賞 受賞

**MiMaもリスク**  
未然防止にお役立てください

**テレビショッピングのトラブルに注意!**

**被害事例**

テレビショッピングで紹介されていたハンドクリーナー（掃除機）を電話で注文し、届いた商品を開封すると、あまりに小さくて使えないと感じた。返品可と言っていたので、すぐに業者に連絡すると、「外箱は開封しても返品に応じるが、商品箱をあけたらできない。」と言われ、返品に応じてもらえなかった。

**未然防止アドバイス**

- テレビショッピングでは実物を確認できません。テレビ広告の情報だけでなく、商品のサイズ等についても電話口でよく確認しましょう。
- テレビショッピングにクーリング・オフ制度はありません。返品・解約の条件は「未開封に限る」や「通電した商品の返品はできない」等業者ごとに決められた返品特約に従うことになります。購入する前に返品特約をよく確認しましょう。



**困ったときは、  
美馬地区消費生活センターへ  
ご相談ください。**

地域交流センター「ミライズ」1階  
「相談のハコ」  
☎0883-53-1541  
相談時間 午前9時～午後4時  
(土、祝、年末年始を除く)

**3/6 にこここかいらしい教室  
化粧でいきいき健康づくり**

資生堂の化粧療法を学んだ市社会福祉協議会の職員が、化粧療法の地域展開を前に、初めての「にこここかいらしい教室」をマルナカ紡脇町店で開催しました。当日は9名が参加し、健康寿命に向けた身だしなみや化粧の効果について学び、実際にスキンケアや化粧を行いました。参加者からは「久しぶりに化粧をしたので習慣化して前向きになりたい」といった感想が聞かれました。今後、ふれあい・いきいきサロン等、市内各地で実施している通いの場で化粧療法の普及に取り組むことにしています。



楽しく化粧療法を学ぶ参加者

**3/2 絵本「大きな木」を寄贈  
命のリレー、臓器移植を考える**

特定非営利活動法人日本移植支援協会様から市内の小・中学校の児童生徒に臓器移植をテーマにした絵本「大きな木」50冊を寄贈していただきました。寄贈いただいた絵本は市内の全ての小・中学校及び市立図書館に配布させていただきます。ありがとうございました。絵本は臓器移植についての知識を深め、命の大切さを考えるきっかけになるよう活用していきます。



日本移植支援協会様から市長に手渡されました

**市人権教育推進協議会 活動報告  
人権課題解消に向けた取り組み**

市人権教育推進協議会は、部落差別をはじめ、あらゆる人権課題解消のため、2025年度に様々な活動を行いました。  
・尾木直樹さんを講師にお招きし、人権講演会を開催  
・講演会や研修等の際、配布する啓発グッズを作成  
・ホロコースト記念館（広島県福山市）で、現地研修として平和を学習  
2026年度も、様々な活動を予定していますので、市民の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



ホロコースト記念館での現地研修の様子

**100歳おめでとうございます  
県と市から祝い状等を贈呈**

令和8年3月に次の方が100歳を迎え、県と市から祝い状等が贈られました。おめでとうございます。

- 佐々 シゲコさん  
(大正15年3月4日生、中西)
- 佐藤 ハルエさん  
(大正15年3月27日生、首野)



**国際交流員  
レポート**



案内人 康榮  
出身：河北省保定市

あつという間の1年間を  
ありがとう

美馬市に来て、あつという間の1年でした。中国語の「再见」(ザイチェン)でお別れることにします。なぜなら、「再见」は、「また会いたい」と言う意味で、次に会うために使う言葉だからです。

美馬では、美しい山と川、青空に白い雲、優しい同僚たち、親切な人々に出逢いました。

私の活動では、こども園では、アコーディオンで歌ったり、踊ったり、小中学校では、中国と日本の勉強の仕方や生活の違い等の話を熱心に聞いてもらいました。地域の方には、出前講座に呼んでいただき、地元の方の手作りの具だくさんの、ばら寿司等で歓迎していただき、とても嬉しかったです。

私は、美しい景色を感じるために、毎日、歩いて通勤しました。アパートから市役所まで20分の距離は、私には、少し物足りなく感じました。

朝の霧が遠くの山並みを越え、川の流れる音を聞きながら、私の毎日の時間は、ここでゆっくりと流れていきました。喧騒も慌ただしくもなく、素朴な生活と静かな風景は、良い思い出として、いつまでも心に残ることでしよう。

別れは名残惜しいですが、祝福の思いを込めて「ありがとう 美馬」いつまでも山紫水明でありますように



お気に入りの汽車とのツーショット